

女性医師の会
性歯科

政治が招いた食の乱れ

岩村暢子氏(キユーピー)が講演

「女性医師・歯科医師の会」は2月28日、講演会「食の崩壊から見える現代の食生活」を開催し、50人が参加した。講師は、著書『家族の勝手』で知られる岩村暢子氏(キユーピー株式会社顧問)。

「食の乱れは政治主導で引き起こされた」と述

べた岩村氏は、戦後の「パン食推奨」やインスタント食品の普及、肉食推奨などが「食の乱れ」の背景にあると強調し、インスタント食品の販売が開始した1960年が大きな分岐点になったと語った。

食生活の乱れが、トレス増加や便秘・貧血など子どもの体調に悪影響を及ぼしている」と警告を鳴らした。

きこまれないために、「一般開業医からより高次の医療機関に早目に紹介するの自己防衛で重要な選択である」とアドバースした。

(松原市・谷泰一郎)

南河内地区 病院への早期紹介が有効

医療訴訟テーマ講習会開く

南河内地区は2月22日、医療訴訟をテーマにした講習会を保険医会館で開催し、30人が参加した。「口腔外科患者のピットフォール(落とし穴)」、医療訴訟を避けるために」と題して松原徳洲会病院歯科口腔外科部長・竹内憲氏氏が講演した。

「口腔外科患者のピットフォール(落とし穴)」

カンデオピニオンを求められる機会が増える指摘。「医療事故」かどうかは医療従事者の過誤過失の有無ではなく、「患者サイドが事故と思えば現在のガン治療においてメジャーな選択肢となっている放射線治療後やBP製剤投与患者の歯科治療による顎骨壊死について、「問診の難しさは言い訳にならず、まして知らなかったでは罪にならない」と語った。訴訟にま

事故になることもある。安易な前医の批判は自分に必ず返ってくる」と注意を促した。



食の崩壊から子どもたちを守るために、岩村暢子氏(キユーピー)が講演した。

家庭は楽しむ場所であり教育する場ではないという考えが増えている

「口腔外科患者のピットフォール(落とし穴)」



講演する竹内氏(2月22日、保険医会館)

「口腔外科患者のピットフォール(落とし穴)」

【設備等】チェア3台(4台可)、パノラマ・デンタルなどの機器材、23・75坪

物件案内

クリサイ情報

【所在地】大阪市中央区長堀橋徒歩4分(堺筋線・長堀鶴見緑地線)

【条件】3月31日に閉院予定。金額は相談の上。3月31日までに取りに来られる方。

【連絡先】協会新聞部 Tel.06-6568-773

協会行事案内

4月度生涯研修
歯周基本治療の可能性と限界
日時 4月19日(日) 午前9時～午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 谷口威夫氏(長野県長野市開業)

都構想って何? くらしはどくなる?
大阪市をなくして区に再編する住民投票
日時 4月25日(土) 午後6時～8時
会場 保険医会館 会費 無料
講師 中村正男氏(明るい民主大阪府政をつくる会事務局次長)

歯科外来診療環境体制加算の施設基準に係る研修会
日時 5月9日(土) 午後7時～9時
講師 足立平氏(神戸常盤大学短期学部口腔保健学科教授)

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。



買い物客や観光客でにぎわうコリアンタウン

遅い午後J.R.鶴橋駅と桃谷駅のほぼ中間に降り立つと、ホームには焼肉のいい匂いが漂っていた。昼食を十分に食べたにも関わらず、おなかの虫が鳴き出した。

このあたりは、百済などの渡来人が5世紀ごろには暮らしていた。

コリアンタウンには多種多様なキムチ、韓国コスメ、韓流ショップ、民族衣装の店など、韓国・朝鮮の人びとの暮らしに欠かせない日用品が揃っている。

大阪をつなぐ直行便の就航をきっかけに、多くの朝鮮人が仕事を求めて日本へ渡り、工業地化したコリアンタウンに

樽に入った様々なキムチが量り売りされている。コミュニティになった。生野区人口の4、5人に1人は在日の人びとである。

鶴橋駅付近に網の目のように広がる鶴橋商店街にも、コリアンタウンがあり、こちらも活気にあふれていた。

今年、戦後70年を迎える。日本社会とともに暮らす他民族の人びとの友好を願った。

日本最大のコリアンタウン

(猪)を飼う技術を持っていたことからこの地域はかつては、「猪飼野(いかの)」と呼ばれた。

大阪をたぐり直行便の就航をきっかけに、多くの朝鮮人が仕事を求めて日本へ渡り、工業地化したコリアンタウンに

今年、戦後70年を迎える。日本社会とともに暮らす他民族の人びとの友好を願った。

おどろかウォッチング

270

今年、戦後70年を迎える。日本社会とともに暮らす他民族の人びとの友好を願った。

今年、戦後70年を迎える。日本社会とともに暮らす他民族の人びとの友好を願った。